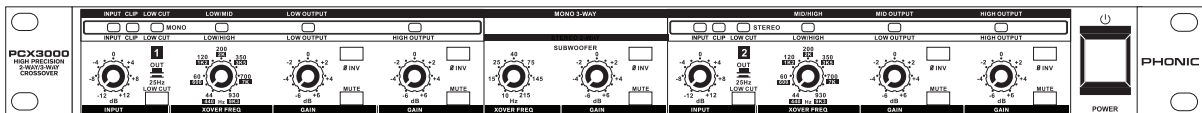


# PHONIC

## PCX3000

High Precision Stereo 2-Way Mono 3-Way Crossover



PCX3000

取扱説明書

# PCX3000

High Precision Stereo 2-Way Mono 3-Way Crossover

## CONTENTS

基本性能 .....	3
ご使用頂く前の準備 .....	3
ステレオ2wayモード .....	3
フロントパネル .....	3
リアパネル .....	4
モノラル3 way モード .....	5
フロントパネル .....	5
リアパネル .....	6
仕様 .....	7
寸法 .....	8
ダイヤグラム .....	9

# 安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。  
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間ご使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。  
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様にご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。  
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。



このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

## 基本性能

- ・高性能ステレオ2way(モノラル3way)クロスオーバー搭載
- ・サブウーファー用に独立した出力端子を完備
- ・世界基準24dB/octaveのLinkwitz-Rileyフィルター
- ・出力ミュート装備
- ・フェーズリバーズ・スイッチ装備
- ・25Hzのローカットフィルター搭載
- ・全ての入出力にXLR端子を採用
- ・ローノイズ・プリアンプ搭載

## ご使用頂く前の準備

- 1.接続する全ての機器の電源がオフであることを確認します。
- 2.出力、入力機器をPCX3000に繋ぎます。
- 3.リアパネルにあるモードボタンを設定します。  
モードの種類はステレオ2wayとモノラル3wayの2種類です。
- 4.次の順番の通りに機器の電源を入れてください：  
楽器類→ミキサー→アウトボード(PCX3000を含む)  
→パワーアンプ(スピーカー)

## ステレオ2Wayモード

リアパネルのModeボタンで設定します。ボタンが押し込まれた状態がステレオ2Wayモードです。  
フロントパネルの「Stereo」LEDと対応するファンクションボタンが点灯します。このモードでは両チャンネルは同じ設定になります。

## フロントパネル

### 1. Input コントロール

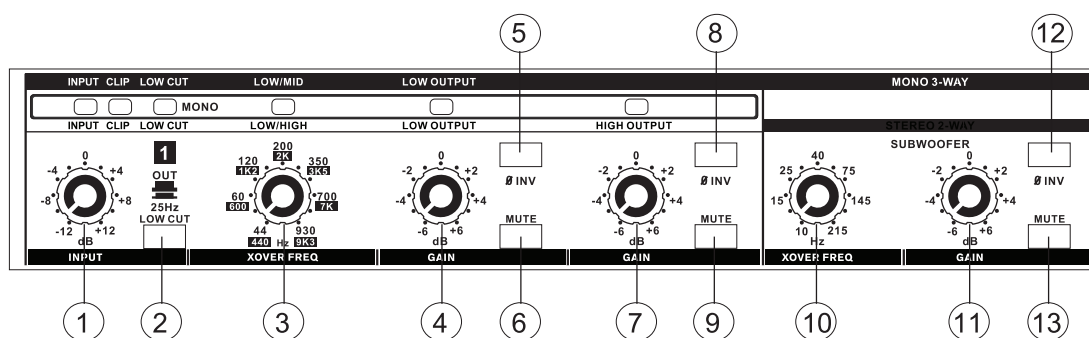
入力ゲインを-12~+12dBの範囲内で設定することが出来ます。

### 2. Low Cut ボタン

ウーファーを保護する25Hzのローカット(ハイパス)フィルター機能が作動します。

### 3. Low/High XOVER FREQ コントロール

低周波と高周波間のクロスオーバー周波数を設定することが出来ます。リアパネルにあるCrossover Frequencyボタンを押すと、この周波数の設定可能範囲が10倍になります。



**4. Low Output コントロール**

-6~+6dBの範囲で低音域の出力レベルを設定することが出来ます。

**5. Low 位相反転スイッチ**

低音域の出力の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーを使用した際に、適切な信号を出力させることが出来ます。

**6. Low Mute ボタン**

低音域の信号にミュートをかけることが出来ます。

**7. High Output コントロール**

-6~+6dBの範囲で高音域の出力レベルを設定することが出来ます。

**8. High 位相反転スイッチ**

高音域の信号の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーを使用した際に、適切な信号を出力させることが出来ます。

**9. High Mute ボタン**

高音域の信号にミュートをかけることが出来ます。

**10. Subwoofer クロスオーバー・コントロール**

Low OutputとSubwoofer Outputのクロスオーバー周波数を設定することが出来ます。

**11. Subwoofer ゲイン・コントロール**

サブウーファー出力レベルを設定することが出来ます。

**12. Subwoofer 位相反転スイッチ**

サブウーファー出力の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーに、適切な信号を出力させることが出来ます。

**13. Subwoofer Mute ボタン**

サブウーファーの信号にミュートをかけることが出来ます。

**リアパネル**

**14. 電源とヒューズホルダー**

付属の電源ケーブルを接続してください。  
このコネクタの下にヒューズが入っています。

**15. High 出力端子**

高音域信号を出力する端子です。

**16. Low 出力端子**

低音域信号を出力する端子です。

**17. クロスオーバー周波数ボタン**

Low/High XOVER FREQコントロールで設定する周波数範囲が10倍になります。(ボタンが押していない場合の範囲は44~930Hz、押した状態の範囲は440Hz~9.3kHzになります)

**18. Input コネクター**

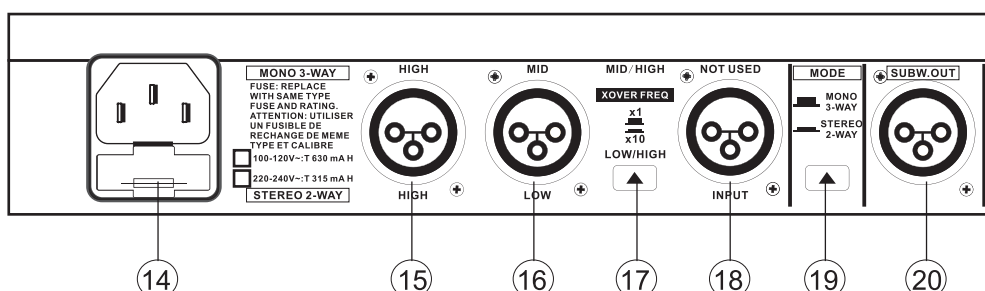
バランス/アンバランス XLR入力端子です。

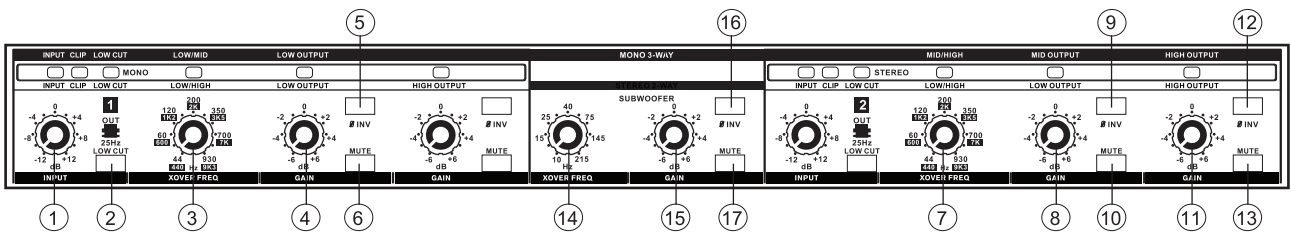
**19. モードボタン**

モノラル3Way/ステレオ2Wayの切替スイッチです。  
※本機器の電源が入った状態では切替を行わないで下さい。

**20. Subwoofer 出力端子**

サブウーファー信号を出力する端子です。





## モノラル3Wayモード

リアパネルのModeボタンで設定します。ボタンが押されていない状態がモノラル3Wayモードです。フロントパネルの「Mono」LEDと、対応するファンクションボタンが点灯します。

### フロントパネル

#### 1. Input コントロール

入力レベルを-12〜+12dBの範囲で設定することができます。

#### 2. Low Cut ボタン

ウーファーを保護する25Hzのローカット(ハイパス)フィルター機能を作動させます。

#### 3. Low/Mid XOVER FREQ コントロール

低周波と中周波間のクロスオーバー周波数を設定することができます。リアパネルにあるCrossover Frequencyボタンを押すと、この周波数の設定可能範囲が10倍になります。

#### 4. Low Output コントロール

-6〜+6dBの範囲で低音域の出力レベルを設定することができます。

#### 5. Low 位相反転スイッチ

低音域の出力の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーを使用した際に、適切な信号を出力させることができます。

#### 6. Low Mute ボタン

低音域の信号にミュートをかけることができます。

#### 7. Mid/High XOVER FREQ コントロール

中周波と高周波間のクロスオーバー周波数を設定することができます。リアパネルにあるCrossover Frequencyボタンを押すと、この周波数の設定可能範囲が10倍になります。

#### 8. Mid Output コントロール

-6〜+6dBの範囲で中音域の出力レベルを設定することができます。

#### 9. Mid 位相反転スイッチ

中音域の信号の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーを使用した際に、適切な信号を出力させることができます。

#### 10. Mid Mute ボタン

中音域の信号にミュートをかけることができます。

#### 11. High Output コントロール

-6〜+6dBの範囲で高音域の出力レベルを設定することができます。

#### 12. High 位相反転スイッチ

高音域の信号の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーを使用した際に、適切な信号を出力させることができます。

#### 13. High Mute ボタン

高音域の信号にミュートをかけることができます。

#### 14. Subwooferクロスオーバー・コントロール

低周波数とサブウーファー周波数間(10〜215Hz)のクロスオーバーの周波数を設定することができます。

#### 15. Subwoofer Gain コントロール

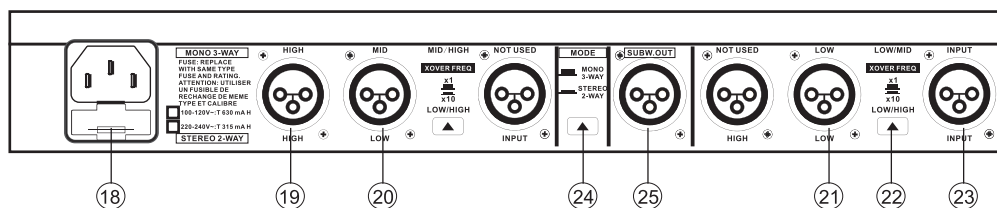
サブウーファー出力レベルを設定することができます。

#### 16. Subwoofer 位相反転スイッチ

サブウーファー出力の位相を反転させ、逆相で配線されたスピーカーに、適切な信号を出力させることができます。

#### 17. Subwoofer Mute ボタン

サブウーファーの信号にミュートをかけることができます。



## リアパネル

### 18. 電源とヒューズホルダー

付属の電源ケーブルを接続してください。  
このコネクタの下にヒューズが入っています。

### 19. High 出力端子

高音域信号を出力する端子です。

### 20. Mid 出力端子

中音域信号を出力する端子です。

### 21. Low 出力端子

低音域信号を出力する端子です。

### 22. クロスオーバー周波数ボタン

クロスオーバー周波数の設定範囲を変更します。  
オフ時は44~930Hz、オン時は440Hz~9.3kHzです。

### 23. Input コネクタ

バランス/アンバランス XLR入力端子です。

### 24. モードボタン

ステレオ2Way/モノラル3Wayのモード切替スイッチです。  
※本機器の電源が入った状態では切替を行わないで下さい。

### 25. Subwoofer 出力端子

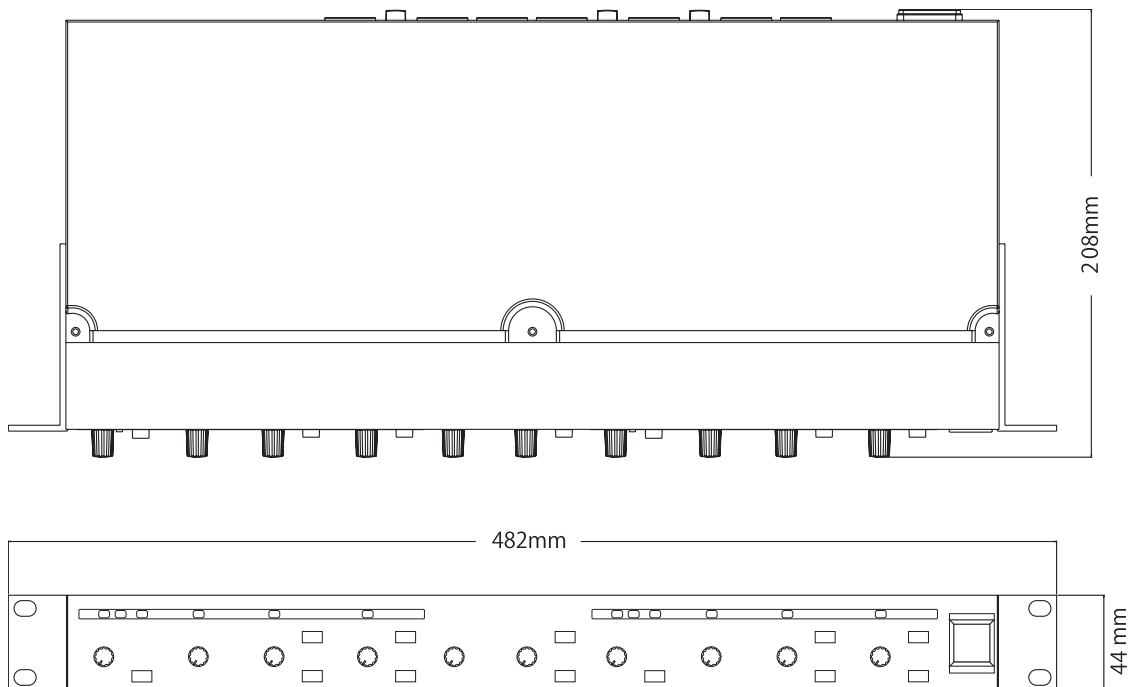
サブウーファー信号を出力する端子です。

**仕様**

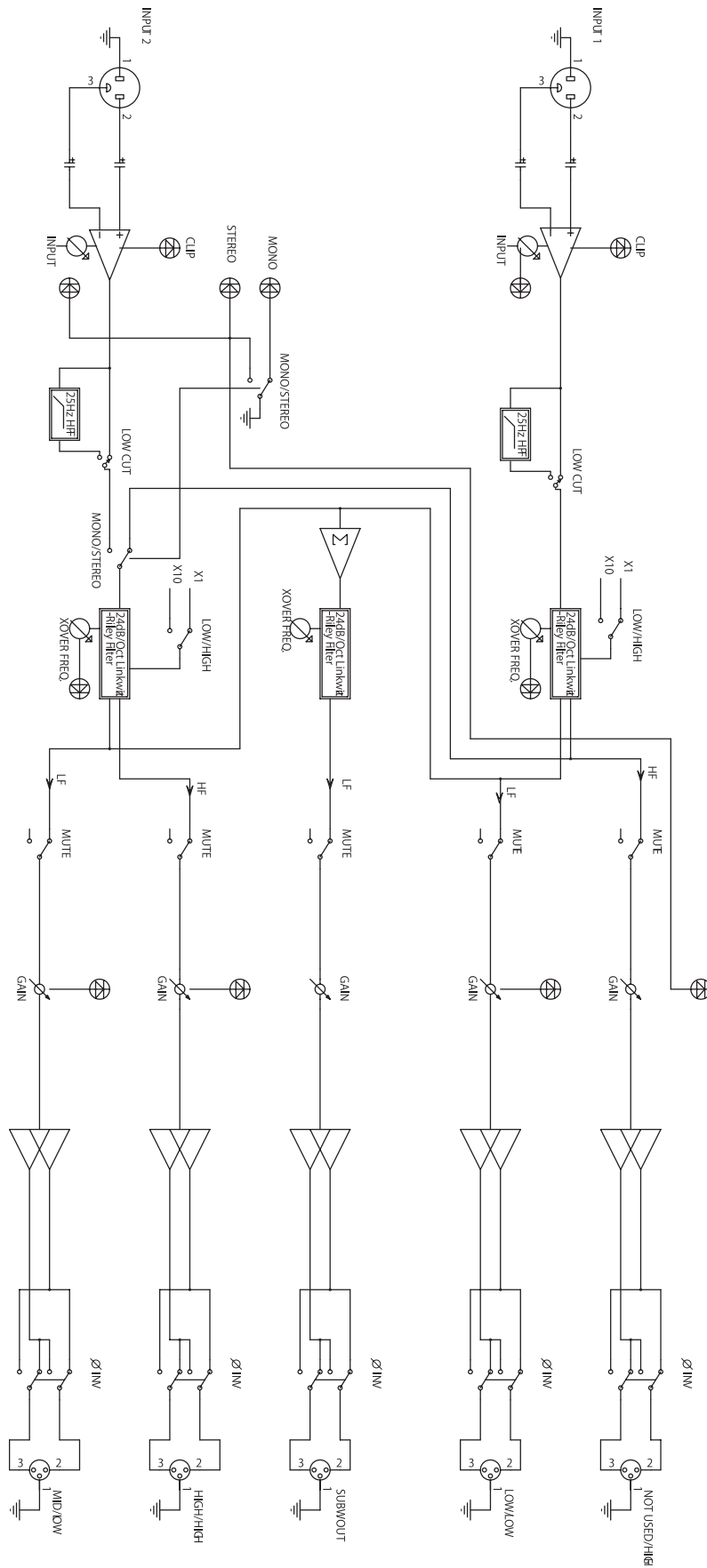
<b>オーディオ入力</b>		
コネクタ	XLR	
種類	Electronically servo-balanced, HF filtered	
入力インピーダンス	Balanced >50 kohm, unbalance >25 kohm	
最大入力レベル	+22 dBu typical, balanced or unbalanced	
CMRR	>40dB, typical >55dB at 1 kHz	
<b>オーディオ出力</b>		
コネクタ	XLR	
種類	Electronically servo-balanced, HF filtered	
出力インピーダンス	Balanced 60 ohm, unbalance 30 ohm	
最大出力レベル	+20 dBu, balanced or unbalanced	
<b>パフォーマンス</b>		
帯域幅	20 Hz to 20 kHz, +0/-0.5 dB	
周波数特性	<5 Hz to >60 kHz, +0/-3 dB	
信号対雑音比	Ref.: +4 dBu, 20 Hz to 20 kHz, unweighted	
	Stereo-Mode:	Mono-Mode:
低音域出力	>94 dB	>94 dB
中音域出力		>96 dB
高音域出力	>92 dB	>92dB
ダイナミックレンジ	>106 dB, unweighted	
THD & ノイズ	<0.04%	
チャンネル間のクロストーク	High to Low: <93 dB	
	High to Mid: <95 dB	
	Mid to Low: <96 dB	
クロスオーバー		
フィルター	Linkwitz-Riley, 24 dB/octave, state-variable	
Mono モード周波数	x1	x10
Low/High	44 to 930 Hz	440 Hz to 9.3 kHz
Low/Mid	44 to 930 Hz	440 Hz to 9.3 kHz
Mid/High	440 Hz to 9.3 kHz	
Stereo モード周波数	x1	x10
Low/High	44 to 930 Hz	440 Hz to 9.3 kHz
サイズ	482 x 44 x 208 mm	
重量	2.8 kg	



寸法



ダイアグラム



**PHONIC**  
WWW.PHONIC.COM



**PHONIC** 正規輸入代理店  
株式会社 キョーリツコーポレーション  
[www.kcmusic.jp/](http://www.kcmusic.jp/)